

令和6年度 学校評価
自己評価及び学校関係者評価

| | |
|-----|-----------|
| 学校名 | 坂戸市立上谷小学校 |
| 実施日 | 令和7年2月14日 |

○「自己評価」及び「学校関係者評価委員評価」の欄には、A～Dを記入してください。

評価 A:よくできている B:概ねできている C:あまりできていない D:できていない

○「自己評価についての評価の説明及び学校の考え」の欄には、理由及び自己評価の結果をどのように受け止めているかを記入ください。

| 領域 | NO | 評価項目 | 自己評価 | 自己評価についての評価の説明及び学校の考え | 学校関係者評価 | 学校関係者評価委員会の説明 |
|-----------|----|---|------|--|---------|--|
| 組織・運営 | 1 | 学校は、特色ある学校づくりを目指し、組織的・計画的に取り組んでいる。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 今年度は上谷フェスティバルを実施した。地域交流の一つとなった。 少人数の教職員数ではあるが、色々な行事などでは、主任を中心に教職員が協力して取り組んでいる。 上谷フェスティバルや低学年のマルシェなどにより、地域の方々との交流の場が設けられていたと思う。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 上谷フェスティバルの実施で地域との交流のきっかけ作りになったと思う。今後継続ができるかが課題だと思います。先生方の努力に感謝する。 地域に根ざした学校として上谷フェスティバルは、児童にとって大変有意義だったと思う。少人数の利点を活かした教育活動を今後も進めていきたい。 |
| | 2 | 学校は、災害、事故やトラブルに対して、組織的に迅速に対応している。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 定期的な避難訓練などを行っている。 先生方が連携して、迅速に対応できている。 携帯電話の所持の件など、教職員の見方や考えに違いがあり定まっていないことも多い。 学校内の連絡体制が難しいため、なんらかの方法で内線の替わりになるものが必要であると感じる。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 危機管理意識が教職員に同じレベルで共有されていることが大事、それによって組織的に対応ができる。 訓練から見えてきた問題点を改善していくことが安全に繋がると考える。 不審者、犯罪者対策、自然災害、火災対策を保護者にも周知して訓練を行うべきだと思う。 |
| | 3 | 学校は、働き方改革を意識して、職員の勤務体制の改善を図っている。(市共通項目) | B | <ul style="list-style-type: none"> 充電年休やノー残業デーの設定、定時退勤ウィークがあったりと、残業や働き方の改善が図られている。 管理職の指導のもと、業務改善が図られている。また、カエル会議などを通して、職員の声も大切にされていると感じる。カエル会議で決まったことを実現するために、一人一人が鍵閉めなどを忘れずに行うことが重要だと思う。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 教員の人数が少ない。人手不足と厳しい中、働き方について色々と工夫し、努力している様子が伺われる。 職務上難しいと思いますが、先生方が公私の時間の充実をはかれないと児童への教育も十分にできないので工夫していただきたい。 |
| 教育課程・学習 | 4 | 教員は、学力向上に向け、主体的・対話的で深い学びのある授業をしている。(市共通項目) | B | <ul style="list-style-type: none"> 授業改善を図り、学びづくりを各教科に具現化できている。特に、自分の考えをもち、聴き合う学級がつけられていると感じる。 一人1授業以上を公開し、互いに授業を見合いながら高め合うことができた。 主体的な学習活動となるよう努めているが改善できる点は多い。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 学力向上に向けて学習活動等努力し、教員同士学び合う雰囲気を感じられる。 特段問題を感じることはありませんが、先生方が不足していると感じられるところは可能な限り実行していただければと思う。 |
| | 5 | 教員は、豊かな心を育む授業の充実を図っている。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 道徳科の授業の公開やSOSの出し方の教育を通して、生命の尊さやいじめの根絶に向けて教職員が努力を重ねていると思う。 日頃の授業や生活面で、児童の言動等で気になる点に関してはその場での注意やその学級担任と話をしながら、対応するようにしている。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 先生方は努力されていると思う。継続して進めていただきたい。 健全な心を育む道徳教育に力を入れている様子が保護者アンケートの結果から見て取れる。 私が参加させていただいた道徳の授業は素晴らしいものであったと思う。 |
| | 6 | 児童生徒は、時と場に応じた態度をとることができ、意欲的に学校生活を送っている。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 生活目標の年間重点目標で、丁寧な言葉遣いの定着に取り組んでいる。アンケートの結果では、あいさつや言葉遣いにおいて、「できている」と回答する児童が増えている。 来校する外部の人にももう少しあいさつができたらとよい。 持ち物の忘れが多いので、引き続きすぐーなどで呼びかける必要がある。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 挨拶は集団生活の中では基本である。学校だけでなく家庭でのしつけが重要。 以前に比べて我々見守り隊に対しても大きな声でしっかりと挨拶できる児童が増えてきたと感じている。学校の指導の賜物だと思う。さらに継続して指導していただければと思う。 |
| 資質の向上 | 7 | 学校は、体罰や交通事故等の教職員事故や不祥事根絶のための研修や活動に積極的に取り組んでいる。(市共通項目) | A | <ul style="list-style-type: none"> 倫理確立委員会を定期的に開催し、全教職員が担当することで、不祥事を起こさない意識が高いと思う。また、生徒指導会議を全員で行うことで、抱え込まずに情報共有をして解決していく土壌が職員室にあると感じる。 倫理確立委員会が計画的にできている。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 倫理確立委員会の定期的な開催は重要。継続できるように期待する。 教員の意識の高さが伺われ、積極的に取り組んでいる。 |
| | 8 | 本校の教員は、児童生徒一人一人を認め大切に接している。(市共通項目) | B | <ul style="list-style-type: none"> 丁寧なアセスメントを図り、難しい保護者の協力を呼びかけながら、児童理解が深まっていると思う。 ケース会議や教育相談を行いながら、不登校児童への働きかけもできている。 家庭と連絡帳や電話、面談を行い、児童について話し合い連携して指導に当たっている機会が多い。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 先生方の努力に頭が下がる。保護者の教育も必要。 子供たち一人一人に対し、全ての先生が良い対応をされていらっしゃると思う。 児童の成長を促す基になる個に応じた丁寧な関わりができていると思われる。 |
| 学習環境 | 9 | 学校は、特別支援教育体制の充実を図っている。(市共通項目) | B | <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級の担任以外の教員も指導を行うなどして、教職員が共通理解をもって対応できていると思う。 特別支援教育の研修会を行うことで、正しい理解をして支援を進められていると感じる。 就学支援も定期的に開催している。 | B | <ul style="list-style-type: none"> よく支援ができていると思う。 一人一人の特性に配慮した支援が教員共通理解の基、進められることを希望する。 担任の先生以外の先生と通常学級の児童と同じ授業を一部行うとよいと思う。 |
| | 10 | 学校は、安心安全で機能的な教育環境整備に努めている。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 一か月に一度、安全点検を行っており、定期的に備品の整理を行ったりしている。備品整理に関しては、ものが増えてしまいやすいので、継続して行っていきたい。 清掃主任を中心に、週3日の清掃でも、充実している。 縦割りグループでの活動はいいと思うが、おしゃべりをせず、黙々とする活動も重視することが大切だと思う。 | A | <ul style="list-style-type: none"> よく管理ができていると思う。管理されていると犯罪も起こりにくい。 トイレや廊下などきれいにされており、各クラスの掲示を見るのも楽しみにしている。 |
| 家庭・地域との連携 | 11 | 学校は開かれた学校づくりを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。 | B | <ul style="list-style-type: none"> すぐーの活用により、家庭に情報を発信できている。また、多くの行事を家庭・地域に公開している。 ホームページをもっと充実させたい。 学校評価でできた課題を真摯に受け止め、改善する姿勢が根付いていると感じる。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 情報提供は、大事な要素。保護者が来校しやすい環境作りを続けてほしい。 学校・家庭・地域が協力し児童を見守る体制作りを引き続きほしい。 ホームページの更新を随時行うとよい。 |
| | 12 | 学校は、積極的に地域の人材を教育活動に活用し、家庭・地域と連携し子どもの問題解決を図っている。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 読書ボランティアや学校応援団など様々な場面で協力いただき、共に連携して教育活動にあたった。 地域の方を読んで、話を聞くなど活用できている。学習習慣の定着には、もう少し呼びかけなどが必要だと思う。 見守り隊の方々が登下校の様子を見てくださっていて、その様子を学校に伝えてくださっているのが、地域との関わり、連携というものはしっかりと図れていると思う。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ボランティアの存在は不可欠。地域の人材発掘に期待。 ボランティアや地域人材の活用で、色々な方が児童に関わることはよいことである。 校長先生のお話や学校行事等から地域との連携をより深めていこうとする意欲を感じる。具体的には困難な課題も多いと思うが、今後もその姿勢と意欲を継続していただきたいと思う。 |
| 小中一貫教育 | 13 | 学校は、小中一貫教育の視点にたった教育活動を推進している。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 小中連絡会などで積極的な情報交換がされていると思う。中学に進学しても困らないように、家庭学習の習慣を定着させるように努めている。 スタディーウィークは必要が疑問に感じる。 小学校と中学校の関わりがあまり見えてこないのが、情報がもう少しいろいろな先生にも回るとよい。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 今後も情報交換を進めてほしい。 小中で積極的な情報交換が行われているようなので、更に充実させ進めていただきたい。 中学との取組について聞いたことはないの、中学校の先生にも特別授業を行ってもらい、中学への新旧について児童を安心させるのはどうか。 |